

2014 CQ WPX ph コンテスト 参戦記

JA3AOP / 杉山 暁

2月の初めから太陽黒点数は高い値を保ったままです。4回ほど110ほどに下がったことがありますが、130から200の高い値を保っています。ハイバンドのコンディションが期待されます。

3月28日(金)の午後、久しぶりに淡路のシャックに入りました。まず、アンテナチェック。2本のタワーのアンテナは大丈夫なようです。しばらく使っていなかったPCの電源を入れるがなかなか使えるようにはならない。PC内の時計用電池が駄目になっているのか、2台のPCの日付時刻の修正から始める。また、Winやセキュリティーソフトの更新がいっぱい溜まっているし、e-mailの取り込みにも時間がかかる。特に最近Win-XPの終末を迎えてPCの動きが鈍くなってきたように思う。持ち帰っていたSteplRのコントローラやCQマシンなどを接続し、N1MM Loggerのデータを更新してリグと接続。無線機の周波数を取り込んで交信結果のバンドスコアが作成できることを確認して準備完了。夕食後少しバンドの様子を探るべく15m, 10mにQRV, これはHamLogで記録しようとの家のPCのハムログデータをこちらのPCに移そうと2,000ほどのQSOをUSBメモリーに入れた筈なのにメモリーには120QSO分しか無い、こんなことは初めてだ。仕方なくN1MMでLogをとる。

[NOAA Sunspot Number]

White: 0, Skyblue: less than 40, Green: 40-80, Yellow: 80-120, Red: greater than 120

2012/12/29	49	37	87	99	90	116	167	181	186	196	144	153	145	166	156	126	128	120	91	74	56	46	48	50	53	68	60
2013/01/25	44	55	60	52	63	56	47	65	54	79	30	41	39	58	57	58	45	60	55	26	25	59	75	74	92	117	106
2013/02/21	75	79	56	25	59	49	61	63	88	90	115	103	106	88	80	59	63	89	105	95	103	133	105	90	126	116	68
2013/03/20	70	60	54	56	45	56	41	35	49	73	70	83	84	103	109	119	146	117	144	162	116	163	121	128	148	111	99
2013/04/16	97	89	86	101	101	76	83	95	92	93	104	100	97	106	165	151	102	139	156	103	122	118	112	154	149	145	173
2013/05/13	144	142	136	212	198	146	113	113	119	107	117	99	107	92	87	75	83	71	58	60	76	99	59	81	71	76	27
2013/06/09	41	21	14	27	45	73	101	104	110	129	128	128	135	137	118	82	91	77	71	83	67	85	102	101	94	109	113
2013/07/06	115	112	143	98	76	85	87	66	88	77	61	74	112	94	57	49	53	84	65	71	58	64	68	97	105	94	88
2013/08/02	112	104	75	59	61	99	90	51	76	90	85	98	105	129	104	96	134	161	115	149	125	127	101	46	35	61	44
2013/08/29	55	62	60	71	84	74	77	75	41	35	24	13	23	53	58	40	24	12	23	80	59	85	85	79	98	65	56
2013/09/25	61	63	54	58	39	42	49	59	61	84	69	53	76	99	111	133	115	106	125	136	143	120	166	154	149	117	179
2013/10/22	228	141	146	148	171	206	155	171	132	128	95	123	143	151	134	142	159	160	95	90	104	147	128	234	272	213	282
2013/11/18	144	113	95	85	51	65	69	52	47	76	100	95	102	104	124	97	98	103	105	104	83	125	169	166	156	141	163
2013/12/15	158	114	91	118	136	137	131	111	108	96	81	96	107	95	119	93	136	106	133	162	128	225	245	196	178	106	136
2014/01/11	134	118	102	95	87	77	95	114	91	131	147	144	121	150	150	109	62	70	96	112	87	147	163	168	183	234	223
2014/02/07	241	186	180	122	151	187	157	196	135	137	101	134	123	140	152	179	135	205	157	197	227	279	177	170	191	160	181
2014/03/06	174	161	138	123	122	108	145	130	121	141	139	110	125	137	137	125	159	159	132	114	123	145	135	135	122	128	124
2014/04/02	126	137	159																								

CQ WPX phone contest

29日(土)大阪国際交流センター・ラジオクラブ・ロールコールに参加。島本さんと二人だけのロールコールを終わってコンテストログを立ち上げて10mにQRVしたが、Win-XPのPCの動作がもたもたしている。セキュリティープログラムがアップデートに走りこんだり、リグの周波数を読まなかったりともたついている。少しQSOしたが、もう1台のPCに交換することにした。10:30jstになってやっと順調に動くようになった。NAを中心に10mバンドを端から順に呼んでいった。すでの200番台QSOをしている局が見られる。大分差がついた。11:00jst過ぎに15mへ下りてみた。11時40分jst, AK6Wを呼んだ。すると相手局から「そちらはAkiか? こちらはDeanだ。強い電波だ。」との応答が返ってきた。そつどと答えると「また日本へ行くつもりだ。」とのこと。APDXCに来て、HF Terrain Assessmentの講演をしてくれたN6BV Dean Strawだった。あとで[AK6W]をQRZ.comで調べるとSan Jose近くのMountain Viewにある「100 AKER WOOD Contest Club」でした。12時jst過ぎには再び10mへ復帰した。14時ごろからは東欧方面が中心になった。

その後、15mと10mバンドでヨーロッパを主体に交信。12時間経過した21時jstでは517QSO、まだまだ道は遠い。午後から風がかなり吹いてきたが、少し収まってきた。南からの風なので海から直接シャックに向かって吹いてくるので、斜面を駆け上がってアンテナを吹き上げる厳しい風だ。23時jst頃少し収まってきてやれやれと思ったが、それもつかの間のことで24時を過ぎる頃にはまた強い風が吹きつける。まだまだ強くないそつなので、真夜中だがタワーを少し下げよう。戸外に出て22mHまでフルアップしていたタワーを15mH程度まで慎重に下ろした。この程度まで下ろすと、クランクアップ・タワーの隣り合った各段はそれぞれ重なり合って2重構造のタワーになって耐久力が増す。22時jstをすぎてやっと20m, 40mの交信となった。80mは交信の可能性がなさそつだ。30日午前2時jst頃には風が強くなってきた。シャックやリグを置いた机が時々揺れる。先ほどタワーを下ろしておいて良かった。午前5時21分jstで仮眠に入る。



仮眠のはずが寝すぎてしまった。朝 9時前jstに再開、一日目を終わって748QSO。1,000 QSOを越したかったが残念。今日も、やはり10mバンドが一番活発だ。風は依然として強い。時々15mを試してみるが10mバンドがコンディションが良い。午後、10mで快調にランニング中の六甲山のJH3PRRを発見、私もその近くでランしようとしたが続かない。午後になってどうも様子がおかしい。コンディションが落ちてきたのか？ 10mに移っても良くない。磁気嵐でも起きてきたのか？ しかしJH3PRRは快調だ。ほぼ直角に向けているSteppiR-DB36と3エレを切り替えてもいつものような大きな変化が無い、どうもアンテナがおかしい…。夕方になって風が強い。アンテナは大丈夫か？

と外を見ていると、DB36の向きが変だぞ…。ヨーロッパに向けてCQを出していた筈なのに、アンテナは北アメリカを向いている。どうやら強い風でローテーター・クランプが少しずつずれて、本来の方向より60度ほど東を向いている。この強風の中での修理は無理なので、ローテーターで更に60度西に回してヨーロッパ方向へ向け、ブーム先端に取り付けたロープで方向を固定した。

やっぱりこれだった。ブームがヨーロッパを向くと小さい局も聞こえてきた。快調にQSOは進むが10mの一番良い時間帯を取り逃がしてしまった。20時16分jst やっと1,000QSO達成。31日午前3時過ぎjst 仮眠に入る。この時点で1,216QSOだ。仮眠を3時間する予定が4時間になってしまった。午前7時半頃jstから最後の追い込みだ。NA方向へは昨夜方向を固定した4エレのDB-36が使えず、3エレでのランニングになる。やはり弱い局を探りにくい、最後までがんばって1,328QSO 正しくはDupeが1つあるので、1,327QSOでした。失敗がいろいろあったけれども何とか最後まで頑張れてラッキーでした。

このコンテストでは、シングルオペでの参加者は、継続時間が1時間以上の休憩をコンテスト期間中に合わせて12時間以上とらねばなりません。右下が私のオフタイムの記録です。もう少し運用する積もりでしたが、最後の仮眠は疲れて、なかなか目が覚めませんでした。48時間コンテストは年寄りにはなかなか辛いところがあります。スコアは左下のようになり、1,327 QSO の 2,743,182点でログを提出しました。

Score - 2,743,182 Points			
Band	QSOs	Pts	WPX
7	40	149	21
14	215	581	107
21	447	1239	249
28	625	1733	364
Total	1327	3702	741
Score: 2,743,182			

JA3AOPのスコア

WPX SSB - 2014-03-29 0000Z to 2014-03-31 0000Z - 1328 QSOs		
JA3AOP - Off Times >= 60 Minutes		
2014-03-29 00:00Z - 2014-03-29 00:28Z	00:29 (29 mins)	(Start late)
2014-03-29 12:13Z - 2014-03-29 13:19Z	01:07 (67 mins)	
2014-03-29 20:22Z - 2014-03-29 23:58Z	03:37 (217 mins)	
2014-03-30 01:29Z - 2014-03-30 02:35Z	01:07 (67 mins)	
2014-03-30 04:21Z - 2014-03-30 07:48Z	03:28 (208 mins)	
2014-03-30 13:16Z - 2014-03-30 14:22Z	01:07 (67 mins)	
2014-03-30 18:13Z - 2014-03-30 22:33Z	04:21 (261 mins)	
Total Time Off 15:16 (916 mins)		
Total Time On 32:44 (1964 mins)		

オフタイムの記録

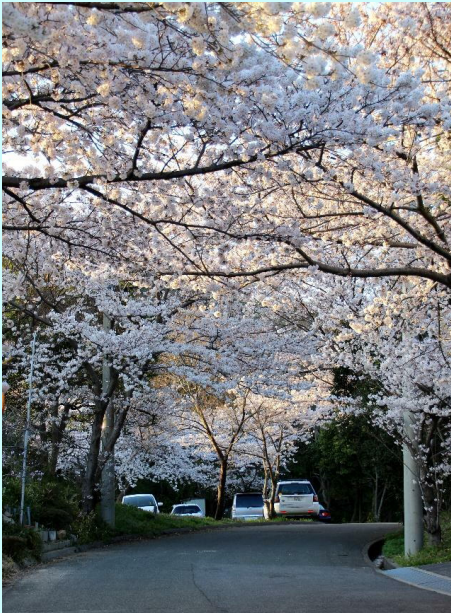
コンテスト余話

コンテストの後一眠りし体力回復したところで、アンテナ修理です。タワーに上りローテーターとアンテナポールを確認するとボルトナットは緩んではいませんが、クランプの隙間にはポールの周囲に縦の線が数mm毎に刻まれており、少しづつポールがずれて回転していったことを物語っていました。

YAESU G2800-DXA ローテーターのクランプのボルトナットを緩めてブームを正しい方向に直して、ボルトを締め付けて固定して、修復完了しました。アンテナマストとローテーター・クランプを貫通するボルトも付属しているのですが、これで固定してしまうとローテーターのギア・ボックス自体が壊れる恐れがあります。方向がずれるのはフェーズの役割を果たしています。アマチュア無線のアンテナが大きくなってきているのに、それに対応したローテーターに代わってきていないのが実情です。また、固定タワーであれば、大きく頑丈なローターを使うことが出来ますがクランクアップタワーの先頭部の容積は極めて限られており、ローテーターの大きさが制限されてしまいます。

まあ、ほどほどに折り合いをつけながら使ってゆかねばなりません。

3月31日月曜日はコンテストも終わり アンテナの不具合も順調に修復でき、近くの別荘地の櫻も金曜日にやってきた時は蕾だったのが今日は立派な櫻トンネルになっていて、うきうきした気分。夕食は久しぶりにベランダで焼き肉をしてみよう。テーブルの上にコンロと材料を並べ、電気の投光器でなくムードを出してガス・ランタンを点してしてみる。焼肉器は遠赤外の網焼きが良い。軽くて汚れも少なく掃除がしやすい上に一番美味しい。以前使っていた鑄鉄製の焼肉器は重くて汚れもひどいから、掃除が大変だし、軽量網焼き器で焼いた方が断然美味しい。以前に6人ほどでこれらの焼肉器を二つ並べて同じ肉を焼いてみた。すると全員が軽量網焼きの方ばかりを食べるので、途中で鑄鉄製は引退してもらったことがある。以後、鑄鉄製は出番が無い。今回、焼く野菜はたまねぎとピーマンだけ、ピーマンは切らずに丸ごと焼く。丸ごと焼きあがったピーマンにかぶりつくと中からピーマンの匂いと味があふれ出て美味しい。ピーマンの美味しさが放散しないで中に閉じ込められている。皿にはキャベツやレタスや新たまねぎをスライスして盛っておく。焼きあがった肉はたれにつけて、スライス野菜の上に置き、野菜とともに口に放り込む。野菜のシャキシャキ、ひんやりと肉の温かく豊かな味が交じり合って満悦！！夜の海岸線を眺めながら、少々涼しすぎたがワインで補って暫しの極楽。



鑄鉄タイプのグリル



網焼きのスグレモノ

